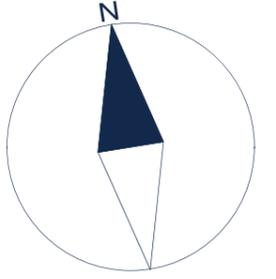


symbol - 人と結び -

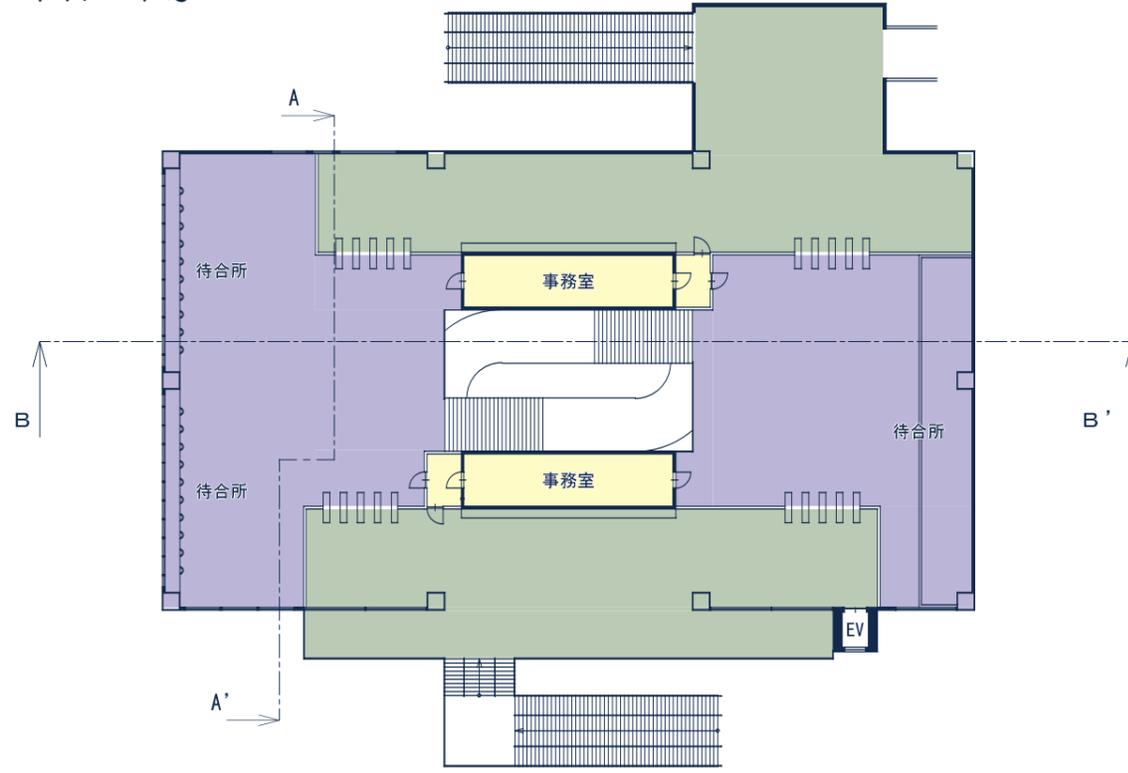
水戸日建工科専門学校 2年
永村 京慈



〈設計主旨〉

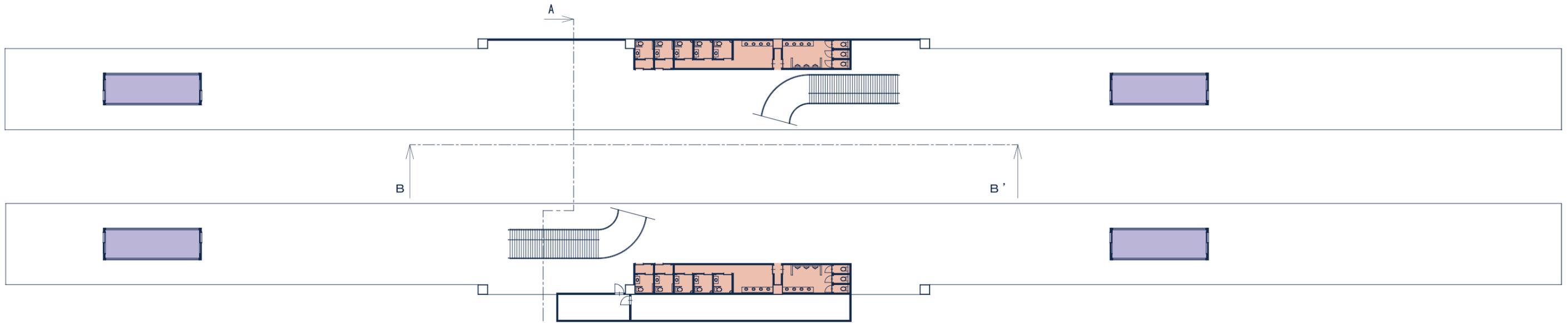
結城市は古くから栄えていた町で現在も工芸品「結城紬」は現存しているが、年々活気が失われている。本計画は、結城市の玄関口である結城駅を再編し、観光と日常の動線を重ね合わせることで、人の流れと交流を生み出すことを目的とした、観光客に結城市を知るきっかけを提供、地域住民の日常動線の質を高める建築提案である。

計画内容は、結城駅の改築、文化体験施設の新築、駅前ロータリーへの雨よけの設置で構成されていて、『結城紬の「糸を紡ぐ」という行為を建築の空間構成に置き換え、人と人、人とまちを結び付ける建築』をデザインコンセプトとする。



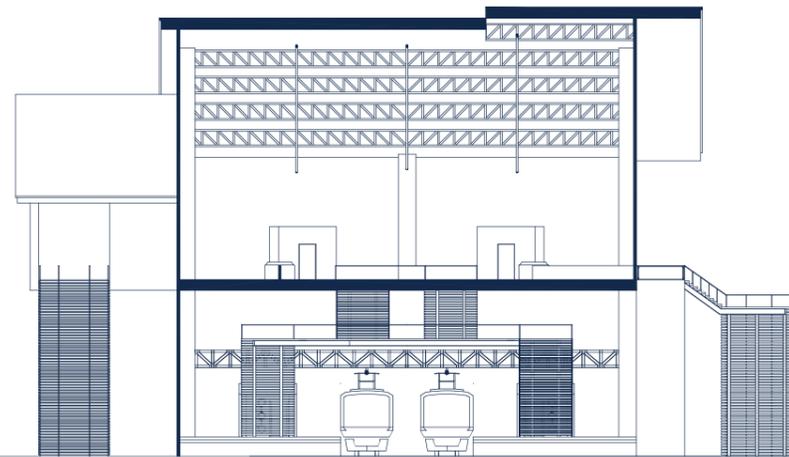
- 入口：北口、南口
北口からは隣接する図書館に通ずるトラス架構の橋が架かっている
- 待合所
改札を通った人、電車から降りて改札から出る人が通る場所。
西側は大開口に面するカウンター、東側は畳敷き、ホームにはエアコン付きの小屋
- 事務室
駅員が事務作業をする場所。
切符売り場等に干渉可能。
- トイレ
女性用トイレ、男性用トイレに加え、多目的トイレを2つ設置。

結城駅 2階平面図 1/400

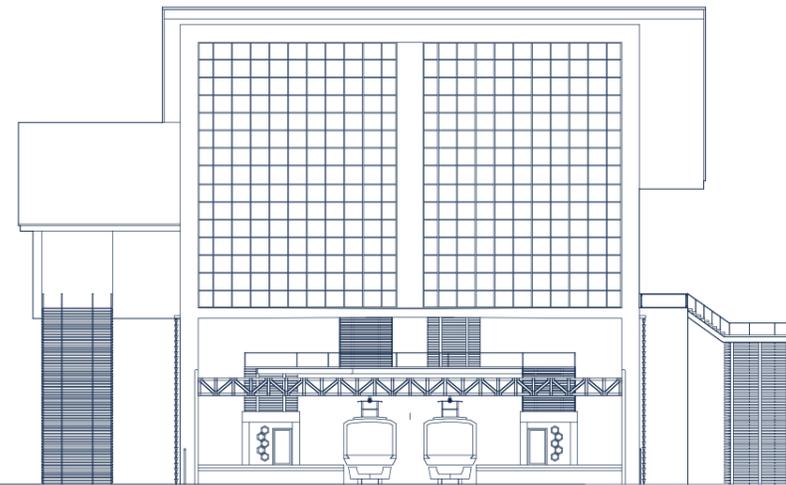


結城駅 1階平面図 1/400

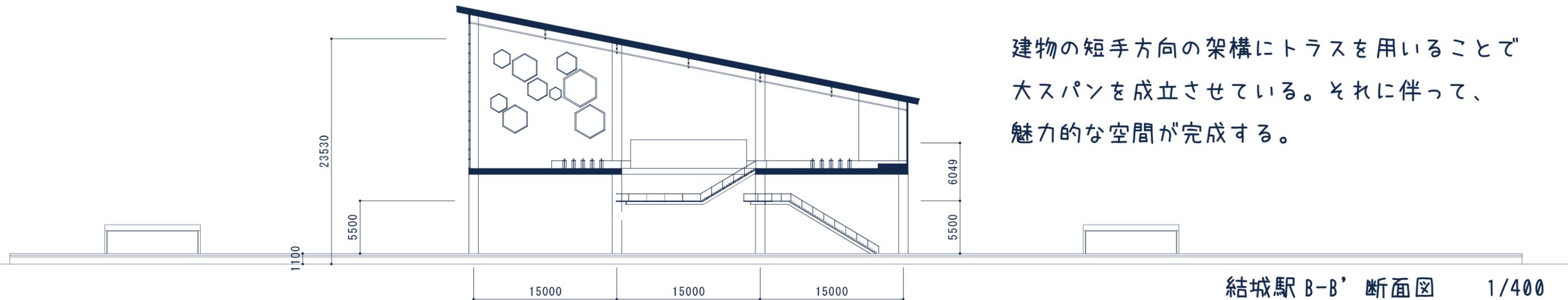




結城駅 A-A' 断面図 1/400

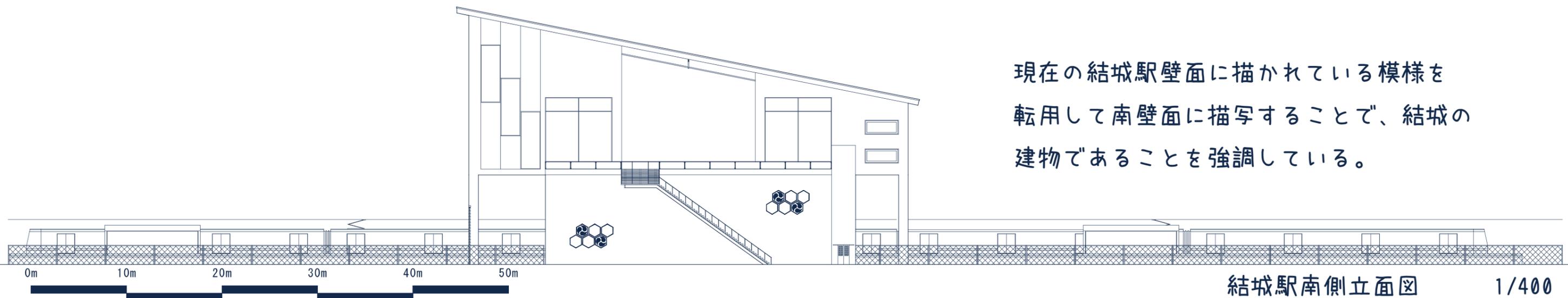


結城駅西側立面図 1/400



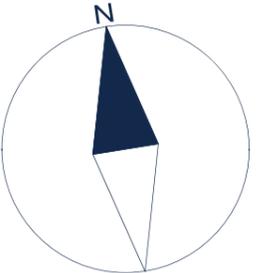
結城駅 B-B' 断面図 1/400

建物の短手方向の架構にトラスを用いることで大スパンを成立させている。それに伴って、魅力的な空間が完成する。



結城駅南側立面図 1/400

現在の結城駅壁面に描かれている模様を転用して南壁面に描写することで、結城の建物であることを強調している。



子供用撮影ブース

総合受付ブース

大人用撮影ブース

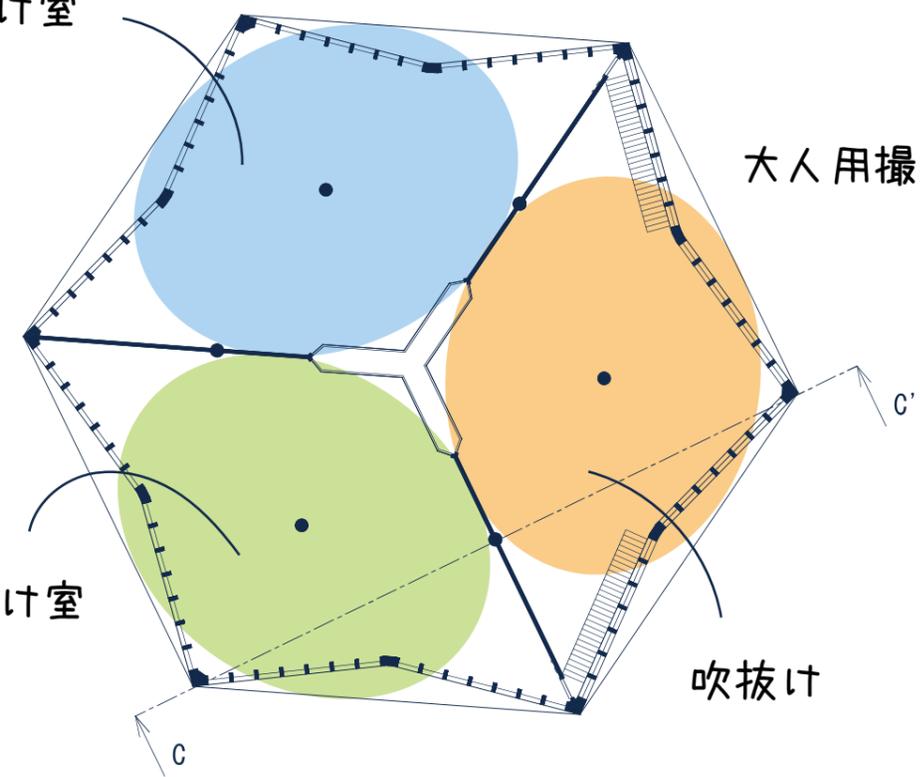
女性用着付け室

男性用着付け室

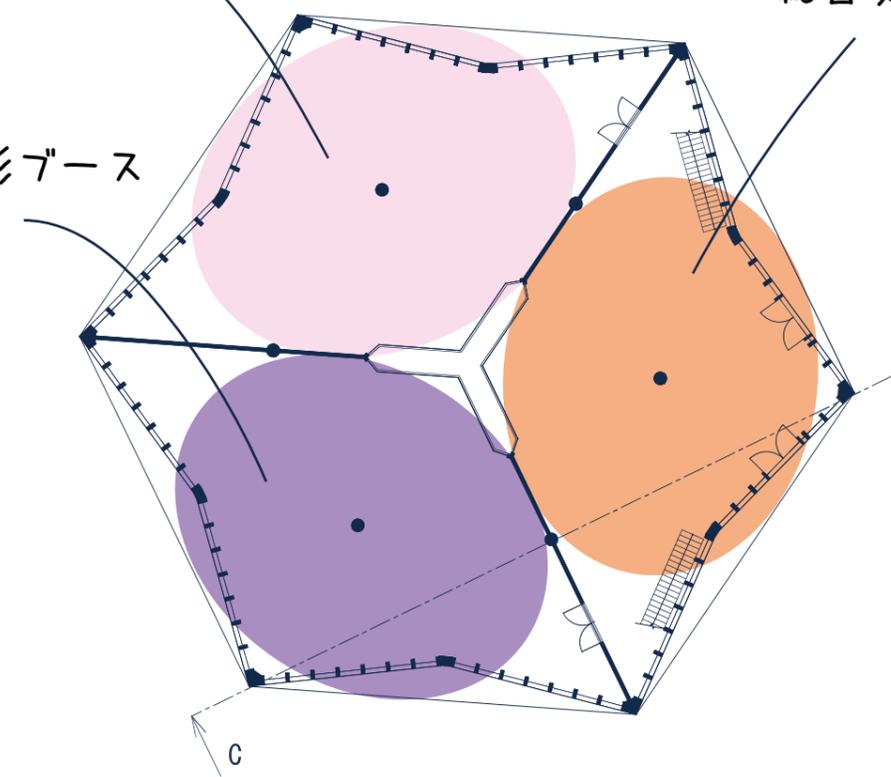
吹抜け

「麻の葉文様」、市の花「ユリ」、
結城紬の特徴「亀甲模様」を
かけ合わせた形にすることで
より、結城市を印象付けることが
できる。

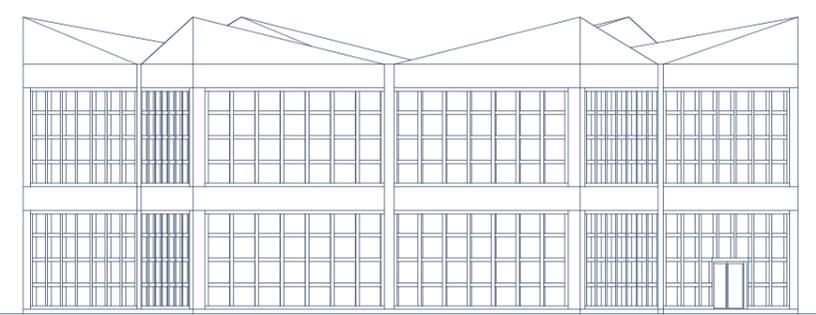
勾配を中心部に向けて流し、
中心底部に勾配を設けることで
排水計画を成立させている。



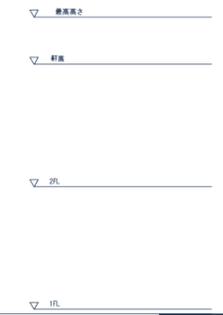
紬センター2階平面図 1/300



紬センター1階平面図 1/300



紬センター南側立面図 1/300



紬センターC-C'断面図 1/300

